

**FUJITSU Software**

**ServerView Infrastructure Manager V2.1**

**サポートする仮想リソース管理機能のソフトウェア環境**

2017年7月  
富士通株式会社

仮想化基盤の運用監視は、ServerView Infrastructure Manager V2.1 の仮想リソース管理機能を使用して行えます。

本書は、仮想リソース管理機能に必要なソフトウェアの動作環境の情報を提供します。

本書に記載の詳細や略語については、下記のマニュアルを参照してください。

- ・ FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V2.1 ユーザーズマニュアル
- ・ FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V2.1 用語集

仮想リソース管理機能が動作可能なソフトウェア環境は、SDS (Software Defined Storage) の種類とその版数に依存します。また SDS の種類に応じて必要となるハイパーバイザー、および仮想化管理ソフトウェアは異なります。

仮想リソース管理機能がサポートするソフトウェア環境は以下のとおりです。

ソフトウェア環境 (SDS ※1)				仮想リソース管理機能のサポート (※2)	
		ハイパーバイザー	仮想化管理ソフトウェア		
VMware vSAN	5.x		VMware ESXi 5.x	vCenter Server Appliance 5.x	—
	6.x	6.2	VMware ESXi 6.0 Update2	vCenter Server Appliance 6.0 Update2	○
		6.5	VMware ESXi 6.5	vCenter Server Appliance 6.5	○
		上記以外			
Microsoft Storage Spaces		Windows Server 2012	Microsoft Failover Cluster	—	
		Hyper-V	Microsoft System Center 2012	—	
Microsoft Storage Spaces Direct		Windows Server 2016	Microsoft Failover Cluster	○	
		Hyper-V	Microsoft System Center 2016	—	

※1 SDS : Software Defined Storage

※2 ○ : サポート対象 — : サポート対象外

以上